

今年度 事業名	男女共同参画啓発事業	事業コード 798
来年度 事業名	男女共同参画啓発事業	

総合戦略 体系	314	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	ワーク・ライフ・バランスの推進(再掲)
------------	-----	-------------	---------------------	---------------------

PLAN (計画)	部署名	めがねのまちさばえ戦略課	開始年度	2004	終了年度	9999
	目的	ジェンダー、固定的性別役割分担の見直しやドメスティックバイオレンス、セクシャルハラスメントなど女性に対するあらゆる暴力の根絶および男女共同参画ならびにワーク・ライフ・バランスの推進に関する意識を高揚する。				
	概要	男女共同参画等に関する情報紙「ばーとなー」・パネル展・広報誌等での啓発を行う。また、男女共同参画推進に関する関係者や市民が参加し、男女共同参画推進大会(フェスタ)を開催する。				
	コロナ対応 の取組	(今年度)例年12月に開催している男女共同参画推進大会(フェスタ)開催事業は、不特定多数の参加者が見込まれることから中止とした。フェスタ事業内で行っていた人権研修はリモート形式で開催、朗読劇などの啓発事業については、動画撮影を行いユーチューブ配信した。情報誌発行(パートナー)は変更なし。 (来年度)男女共同参画推進大会(フェスタ)開催事業については、全国的にコロナ禍が収束するまで中止。他の事業はR2年度同様に開催する。				
法令 根拠		実施 形態	現在	民間等委託(一部)		
			内容	市、男女共同参画ネットワーク、夢みらいWe等と企画段階からの協働により実施している。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
広報・情報誌の発行回数	回	目標値				5	5
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
広報・情報誌の配布枚数	枚	目標値				65,000	65,000
		実績値					
計算 根拠	男女共同参画の浸透や理解が不十分な中、どれだけの人に男女共同参画の広報誌等を配布し、啓発できたかを指標とする。	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
広報・情報誌の発行回数	回	目標値	6	5	5		
		実績値	4	6	5		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
広報・情報誌の配布枚数	枚	目標値	60,000	50,000	50,000		
		実績値	69,700	72,700	91,700		
計算 根拠	男女共同参画の浸透や理解が不十分な中、どれだけの人に男女共同参画の広報誌等を配布し、啓発できたかを指標とする。	達成率	116.2	145.4	183.4		
		実数値					

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.3
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

DO
(実施)

DO(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	714	1,485	1,485	692
決算額	714	1,485	1,485	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	17	201	男女共同参画事業費	9,836	692	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	692

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
①必要性 評価点数の合計	14	/16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 効率性	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担などを 確保する余地はないか。 有効性	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
②事務改善 評価点数の合計	16	/20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	市民主役事業として引き続き、男女共同参画情報誌の発行および啓発を行い、男女共同参画フェスタを開催する。 (R1実施団体 さばえ男女共同参画ネットワーク)
前年度の実績	12/1に齋陽会館にて男女共同参画フェスタを開催。人権研修や朗読劇などをおこない約630人の参加者があった。また、情報誌を2月に各家庭に全戸配布(22,000部)し、啓発に努めた。
来年度へ向けて	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 R2年度は新型コロナウイルス感染防止のため推進大会(フェスタ)が中止となったが、例年600人以上の方が参加している大会であり、男女共同参画啓発において一定の効果があると思われる。感染防止対策を行いながら実施する方法を検討する必要がある。
	実績と課題を踏まえた来年度の変更点 男女共同参画推進大会(フェスタ)開催事業については、全国的にコロナ禍が収束するまで中止する。
	方向性⇒ <input type="text" value="内容縮小"/>

【提案型市民主役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	男女共同参画啓発事業(情報誌発行) / (中止)男女共同参画推進大会開催事業(推進大会開催)
市民主役事業にかかる額(単位千円):	692
来年 事業名	男女共同参画啓発事業(情報誌発行) / 男女共同参画推進大会開催事業(推進大会開催)
市民主役事業にかかる額(単位千円):	

今年度事業名	ワーク・ライフ・バランス推進事業者等顕彰事業	事業コード	1010
来年度事業名	ワーク・ライフ・バランス推進事業		

総合戦略体系	314	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	ワーク・ライフ・バランスの推進(再掲)
--------	-----	-------------	---------------------	---------------------

PLAN(計画)	部署名	めがねのまちさばえ戦略課	開始年度	2003	終了年度	9999
	目的	男女が共にそれぞれの能力を発揮し、働き続けられる社会の実現に向けたワーク・ライフ・バランスの推進を図る。				
	概要	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を推進している個人や企業・団体等を顕彰するとともに、職場環境の改善を志す中小零細企業に対して、改善点や施策のアドバイスをし、働きやすい職場環境の整備をしていくことで、市内のワーク・ライフ・バランスを推進していく。				
	コロナ対応の取組	(今年度)例年フェスタの開場で実施していたワーク・ライフ・バランス賞受賞式を、市長室にて関係者のみの無観客で行った。また、企業診断事業では、企業の取組み紹介やノウハウの共有を目的とした座談会を行う予定であったが、コロナ感染防止のため座談会を中止とし、4社の企業診断をZoomを活用してリモートで実施した。 (来年度)「さばえ38組」の活動、高校生による啓発活動、子育て支援センターでの講座および相談会などの事業を予定しているが、それぞれ感染拡大防止対策を図りながら実施していく。				
法令根拠		実施形態	現在	市直営		
			内	市が選考基準を定め選考委員会を開催し、決定した対象事業者(企業、個人等)を表彰する事業および働き方改革を志す中小零細企業に対してアドバイス等を行う企業診断事		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
広報した回数(広報さばえ、HP、ばーとなー)	回	目標値				3	3
		実績値					
ワーク・ライフ・バランス企業診断数	社	目標値				4	4
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
表彰事業者数		目標値				4	4
		実績値					
計算根拠	R2~ワーク・ライフ・バランス賞の受賞者およびワーク・ライフ・バランス企業診断数(R2より学習会を開催した団体に対する補助がなくなったことによる)						
		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
広報した回数(広報さばえ、HP、ばーとなー)	回	目標値	2	2	2		
		実績値	2	2	3		
ワーク・ライフ・バランス企業診断数 ※2020~	社	目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
学習会等の開催団体数	団体	目標値	10	10	10		
		実績値	12	13	6		
計算根拠	R2~ワーク・ライフ・バランス賞の受賞者(企業3、個人1)およびワーク・ライフ・バランス企業診断数(4社) ※R1までは男女共同参画にかかる学習会を開催した団体等の数						
表彰事業者数		目標値					
		実績値					
計算根拠	2020~ワーク・ライフ・バランス賞の受賞者およびワーク・ライフ・バランス企業診断数(R2より学習会を開催した団体に対する補助がなくなったことによる)						
		達成率					
		実数値					

ランク A A C

事業要員	正規職員	0.08	ランク B、Cの理由	コロナ禍により予定していた学習会が中止となった
	臨時・嘱託			
	※所要時間	0		

DO(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	327	286	294	447
決算額	159	286	90	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	補助費等

DOO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	2	1	17	201	男女共同参画事業費	9,836	447
2							
3							
4							
5以降							
						合計	447

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 13 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 効率性	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 16 / 20

ACTION

今年度 方向性⇒ 維持

取組内容
本事業については、ワーク・ライフ・バランス賞の表彰による市民や企業向けの啓発や働き方改革を志す中小零細企業に対して企業診断を実施し、職場環境の整備を通してワーク・ライフ・バランスの浸透を図りたい。市民向け男女共同参画の学習や研修会等については、夢みらいWeや男女共同参画ネットワークとの協働事業により実施していきたい。

来年度へ向けて 前年度の実績
R1年度ワーク・ライフ・バランス賞は3企業と1個人が表彰された。また、企業診断は4社において実施し、職場内の環境改善につながるよう提案した。

前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題
診断を行う企業の選定が難しい。R2年度は、参考となる取組みや各企業の取組みなどを紹介する座談会を開催して参加企業の中から診断する企業を選定する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止により、座談会は中止とした。

実績と課題を踏まえた来年度の変更点
3495「選べるワークスタイル推進事業」をごちらに統合し、ワーク・ライフ・バランスを図っていくための講座や相談会、高校生による広報さばえの啓発を行う。

方向性⇒ 統合

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	可能	可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	ワーク・ライフ・バランス推進業務
市民主役事業にかかる額(単位千円):	350
来年 事業名	ワーク・ライフ・バランス推進業務
市民主役事業にかかる額(単位千円):	

今年度 事業名	男女共同参画ネットワーク運営補助事業	事業コード 1013
来年度 事業名	男女共同参画ネットワーク運営補助事業	

総合戦略 体系	142	魅力ある雇用の創出	女性が輝くまちの創造	女性の活躍支援
------------	-----	-----------	------------	---------

PLAN (計画)	部署名	めがねのまちさばえ戦略課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市民による男女共同参画推進活動および女性のエンパワーメント活動を維持発展させる。				
	概要	男女共同参画ネットワークに対する活動補助および事務作業の支援を行う。				
	コロナ対応 の取組	(今年度)男女共同参画ネットワークの活動が一部中止となっているため、一部減額して補助した。 (来年度)男女共同参画ネットワークの活動を確認しながら、補助内容を決定していく。				
法令 根拠		実施 形態	現在	補助金等交付		
			内	女性団体ネットワークから男女共同参画ネットワークとなり、20団体が連携して男女共同参画を目指して活動している。今暫くは市の支援が必要である。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
役員会・理事会・委員会等の開催数	回	目標値				34	34
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
取り組み事業の数	事業	目標値				10	10
		実績値					
計算 根拠		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
役員会・理事会・委員会等の開催数	回	目標値	34	34	34		
		実績値	33	35	35		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
取り組み事業の数	事業	目標値	10	10	10		
		実績値	10	10	10		
計算 根拠		達成率	100	100	100		
		実数値					

ランク A A A

事業要員	正規職員	0.1
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	270	270	270	250
決算額	270	270	270	

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	単独事業
	経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	17	201	男女共同参画事業費	9,836	250	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	250

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input checked="" type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 9 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 効率性	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 有効性	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 16 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒	維持
	取組内容	市内20団体が加盟するネットワークが実施する男女共同参画に関する情報の発信、啓発事業に対して支援を行う。
来年度へ向けて	前年度の実績	男女共同参画ネットワークが実施する男女共同参画に関する情報の発信、啓発事業に対して支援を行った。
	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題	R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、大きなイベント会場での啓発活動等が中止となっている。コロナ禍でも実施できるような活動内容を検討していく必要がある。
実績と課題を踏まえた来年度の変更点		男女共同参画ネットワークの活動を確認しながら、補助内容を決定していく。
方向性⇒		維持

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	
来年 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	

今年度 事業名	男女共同参画地域推進事業	事業コード 1014
来年度 事業名	男女共同参画地域推進事業	

総合戦略 体系	142	魅力ある雇用の創出	女性が輝くまちの創造	女性の活躍支援
------------	-----	-----------	------------	---------

PLAN (計画)	部署名	めがねのまちさばえ戦略課	開始年度	2003	終了年度	9999
	目的	これまで政策方針決定の場への参画の機会が少なかった女性が、社会に対する関心を高め、男性も仕事重視の生活を見直し、現在の課題などを共に学ぶことにより、男女共同参画社会の推進やワーク・ライフ・バランスの意識改革を図ることにより女性の社会参画の促進を図る。				
	概要	男女共同参画社会実現のための社会参画講座や地域の課題に対する自主学習活動等の支援および地域における男女共同参画等推進するため、地域へ自らが出かけ、男女共同参画啓発事業を開催する。				
	コロナ対応 の取組	(今年度)社会参画促進事業(さんかく塾)は、参加者を広く募集する形ではなく、夢みらいWe理事(会員)や男女共同参画に関心のある有志の勉強会として開催した。また、地域啓発(さんかくカフェ)は、地域へ出向いての啓発活動が困難なため、ホームページを活用した啓発活動を行った。 (来年度)Zoomを活用した研修会やオンラインサロンを実施し、地域啓発活動を行う。				
法令 根拠		実施 形態	現在	民間等委託(一部)		
			内容	夢みらいWeがさばえ男女共同参画ネットワークと協働で実施している。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
社会参画講座の開催回数		回	目標値				12	12
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
講座・カフェの参加者数(延べ)(H23より市民主役事業)		人	目標値				400	400
			実績値					
計算 根拠			達成率					
			実数値					

■ 通常期の指標

活動指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
社会参画講座の開催回数		回	目標値	7	10	10		
			実績値	5	13	11		
成果指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
講座・カフェの参加者数(延べ)(H23より市民主役事業)		人	目標値	120	400	400		
			実績値	118	364	349		
計算 根拠			達成率	98.3	91	87		
			実数値					

ランク A B B

事業 要員	正規職員	0.1	ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルス感染拡大防止のため3/22に開催予定であった講演会が中止となったため
	臨時・嘱託			
	※所要時間	0		

DO
(実施)

DO(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	300	1,894	1,894	1,870
決算額	300	1,894	1,622	

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	単独事業
	経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R2年度事業名		
					予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	17	201 男女共同参画事業費	9,836	1,870	
2							
3							
4							
5以降							
						合計	1,870

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15** / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 効率性	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担などを 確保する余地はないか。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。 有効性	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 **13** / 20

ACTION

今年度 方向性⇒ **事務改善**

取組内容
夢みらい館が男女共同参画・女性活動拠点としてリニューアルするのを機に、市民役事業として、これまで以上に多様な人々の参画を促して、男女共同参画推進にかかる新たなリーダー養成に努める。また、各地区において公民館、区長会、各種団体等と連携し男女共同参画(女性活躍、SDGs)講座を開催し、地域における男女共同参画意識の浸透を図る。

前年度の実績
社会参画促進事業としてさんかく塾を年6回開催し、地域でのリーダーとなれるような人材の育成を図った。地域啓発推進事業では3地区(中河、神明、吉川)の公民館でさんかくカフェを実施し、地域内の普及啓発に努めた。

前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題
R2年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、地域へ出向いての普及啓発活動ができず、オンラインを活用した啓発を行っているが、できるだけ多くの市民に広める工夫をする必要がある。

実績と課題を踏まえた来年度の変更点
Zoomを活用した研修会やオンラインサロンを実施し、地域啓発活動を行う。

来年度 方向性⇒ **事務改善**

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	未実施

今年 事業名	男女の社会参画促進事業(男と女の共生講座)/男女共同参画推進運営事業(地域啓発推進事業)
市民役事業にかかる額(単位千円):	1,870
来年 事業名	男女の社会参画促進事業(男と女の共生講座)/男女共同参画推進運営事業(地域啓発推進事業)
市民役事業にかかる額(単位千円):	

取組可能な事業の詳細⇒

今年度 事業名	移住・交流情報発信事業	事業コード 2945
来年度 事業名	移住・交流情報発信事業	

総合戦略 体系	214	若者が住みたいなるまちの創造	若者の夢を応援するまち ~よそ者に寛大 で多様性があるまち~	UIターン者定住促進
------------	-----	----------------	-----------------------------------	------------

PLAN (計画)	部署名	めがねのまちさばえ戦略課	開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標「若者が住みたいなるまちの創造」を推進し、鯖江市への交流人口・定住人口の増加を図るために、県内外での積極的な情報発信を行う。				
	概要	移住希望者への個別相談に応じるほか、都市圏での鯖江市の移住情報の発信を行う。				
	コロナ対応 の取組	ZoomやTeams等によるオンライン相談および福井県や連携中枢都市圏によるオンラインイベントにも積極的に参加する。				
法令 根拠		実施 形態	現在	市直営		
			内容	移住希望者への相談業務、都市圏での情報発信		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
オンラインによる情報発信回数 (移住フェア・相談会等)	回	目標値				3	3
		実績値				6	
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
移住相談件数	件	目標値				35	35
		実績値					
計算 根拠		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
大都市での情報発信回数	回	目標値	2	2	2		
		実績値	2	2	3		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
移住相談件数	件	目標値	20	30	30		
		実績値	48	33	43		
計算 根拠		達成率	240	110	143		
		実数値					

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.1
	臨時・嘱託	
	※所要時間	50

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	130	2,053	126	113
決算額	113	852	96	0

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	単独事業
	経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	13	207	持続可能な地域推進事業費	55,263	113	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	113

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計
		0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 **11 / 16**

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 効率性	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 有効性	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20**

ACTION

今年度	方向性⇒	事務改善
	取組内容	県主催の移住・就職フェアやその他の移住相談会等に参加し、移住を考える人だけでなく、関係人口を増やすため、移住に関心があるだけの人にも積極的に鯖江の魅力を伝えていく。また、移住マッチングサイトにイベント等を掲載し、一度来てもらう取り組みを増やしていく。
来年度へ向けて	前年度の実績	ふくい移住フェア等(名古屋(9月)、東京(10月)、大阪(11月))で鯖江市のブースを設けて移住相談やPR活動を行った。また、RENEW等の鯖江市で行われるイベントPRをSMOUTに掲載し、全国から鯖江市へ足を運んでもらえるよう取組みを行った。
	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題	例年の移住フェアは対面式であり、今般の新型コロナウイルスの影響によりオンライン形式の普及啓発活動についても検討する必要がある。
実績と課題を踏まえた来年度の変更点		特になし
方向性⇒		維持

【提案型市民役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	可能	可能	可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	
来年度 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	

今年度 事業名	めがねのまちさばえ感謝祭開催事業	事業コード 3017
来年度 事業名	文化芸術リーダー育成活動支援事業	

総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN (計画)	部署名	めがねのまちさばえ戦略課	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	「吹奏楽フェスティバル」を鯖江市の基幹産業である「眼鏡産業」とのコラボ企画として、福井県眼鏡協会が主催する「めがねフェス」と同時開催する。この取組みを通して、来場者の新たな客層開拓や相乗効果を図り、「めがねのまちさばえ」という地域ブランドが音楽を通して全国に発信できるとともに、地域住民の住むまちへの誇りを醸成する地方創生イベントとする。				
	概要	事業は3部構成とする。「吹奏楽ライブ」は、先輩アーティストや有名アーティストとのコラボレーションを中心にライブ感覚での演奏会を開催し、楽器体験による吹奏楽人口の底辺拡大や地域住民との交流を図る。また、演奏者が眼鏡を着用するなど、「めがねのまちさばえ」ならではのライブにするとともに、同時開催の「めがねフェス」とのコラボ企画を実施する。「めざましライブ」は、有名アーティストとの共演を経験することでの吹奏楽のレベルアップを図る。「吹奏楽スペシャルコンサート」は、県外有名高校吹奏楽部を招聘し、演奏会を通じて子どもたちの更なるレベルの向上を図る。				
	コロナ対応 の取組	(今年度) コロナウイルスの感染拡大予防の観点から、6月14日に開催予定であったイベントが中止となった。 (来年度) めがねフェスなどのイベントに出演される際に、楽器運搬などをサポートする。				
法令 根拠		実施 形態	現在	補助金等交付		
			内容	実行委員会に対して負担金を交付している。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
実行委員会の開催	回	目標値				1	-
		実績値				1	
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
イベント出演数	回	目標値				-	1
		実績値				-	
計算 根拠 ~R2来場者数 R3イベント出演数		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
実行委員会の開催	回	目標値	4	4	4		
		実績値	4	4	4		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
来場者数	人	目標値	4,000	4,000	4,000		
		実績値	4,000	4,500	4,000		
計算 根拠		達成率	100	112.5	100		
		実数値					

ランク A A A

事業要員	正規職員	0.3
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	4,800	6,000	6,000	0
決算額	4,800	6,000	6,000	0

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	13	207	持続可能な地域推進事業費	55,263	0	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	0

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1	(一財)自治総合センター助成金	0
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 10 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、財源(補助金等、受益者負担などを確保する余地はないか。
有効性 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
有効性 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 16 / 20

ACTION

今年度 方向性⇒ 内容縮小

取組内容
総合体育館において、めざましライブと吹奏楽ライブを同時開催することにより、新たな集客と、「吹奏楽のまちさばえ」、「めがねのまちさばえ」を発信する機会としたい。
なお、文化センターの耐震工事に伴い、来年度の吹奏楽スペシャルコンサートを中止する。

来年度へ向けて 前年度の実績
6月1日・8日・9日の3日間で、約4,000の方が来場されました。例年と同様に、「吹奏楽ライブ!」と「めざましライブ」、「吹奏楽スペシャルコンサート」の3部作で開催した。なお、令和元年度は、SDGsに関するクイズラリーやパネル展示、コンサートでのPRを行うことにより、音楽イベントを通して多くの来場者がSDGsについて気軽に知って学んでいただきました。

前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題
このイベントは8年間続けられ、毎回4,000人程度が来場されています。長年続けてきたことにより、6月のイベントとして風物詩となっていますが、イベントがマンネリ化してきています。毎年イベントの内容を工夫しながら開催してきましたが、来場者数が頭打ちになっている現状にあります。また、吹奏楽を通して「めがねのまちさばえ」を全国に発信していくために、テレビ局とのタイアップで「めざましライブ」を開催してきましたが、令和元年度以降は開催できない状況になりました。

実績と課題を踏まえた来年度の変更点
当初の目標は達成されたと考え、今後は、めがねフェスなどのイベントに出演される際に、楽器運搬などのサポートを行うことにより、吹奏楽のまちづくりを推進していく。

方向性⇒ 内容縮小

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	可能	可能	可能	可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

今年 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	
来年度 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	

取組可能な事業の詳細⇒

今年度 事業名	「鯖江OCサミット」開催事業	事業コード 3326
来年度 事業名		

総合戦略 体系	251	若者が住みたいなるまちの創造	参加と協働による市民主役	市民主役事業の推進
------------	-----	----------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	めがねのまちさばえ戦略課	開始年度	2016	終了年度	2020
	目的	様々な世代と交流し互いに学習し合って連携を強くすることで、まちづくりを強固なものするとともに、埋もれたリーダーを発掘する。				
	概要	単なる参加ではなく参画するという主体性を引き出すため、ワークショップ等により団体の事業等の見直し(取捨選択)や意識の改革を促す大会を開催する。				
	コロナ対応 の取組	(今年度)新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度の事業は中止とした。 (来年度)廃止とする。				
法令 根拠		実施 形態	現在	民間等委託(全部)		
			内容	提案型市民主役事業により、実行委員会が企画実施する。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
鯖江OCサミット参加者数	人	目標値				200	200
		実績値					
計算 根拠	ワークショップ等を含めた年間の延べ参加者数	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
鯖江OCサミット参加者数	人	目標値	200	200	200		
		実績値	170	190	200		
計算 根拠	ワークショップ等を含めた年間の延べ参加者数。R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	達成率	85	95	100		
		実数値					

ランク	B	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.15
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	560	560	560	0
決算額	560	560	560	

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	単独事業
	経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	17	201	男女共同参画事業費	9,836	0	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	0

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 15 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 効率性	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 有効性	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 16 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ 維持
取組内容	H28年度から毎年開催してきたサミットの内容について検証を行い、実行委員会の意見を聴取する中で、新たな形式での実施についても検討し、鯖江の女性のエンパワーメントによる持続可能なまちづくりにつながるような事業とする。
前年度の実績	R2.2.15に「全国OCサミット2020」を開催。約200名の参加者があり、女性が自分らしく活躍できる社会についてパネルディスカッションを行い、課題解決に向けて話し合いを行った。
来年度へ向けて	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 R2年度からは事業内容を縮小し、サミット形式からグループワーク形式で開催をする予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。
	実績と課題を踏まえた来年度の変更点 廃止とする。
	方向性⇒ 廃止・休止

【提案型市民役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	可能	可能	可能	不可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	未実施

今年 事業名	「全国OCサミットin鯖江」開催事業
市民役事業にかかる額(単位千円):	0
来年度 事業名	「全国OCサミットin鯖江」開催事業
市民役事業にかかる額(単位千円):	

取組可能な事業の詳細⇒

今年度 事業名	輝く女性世界発信事業	事業コード 3413
来年度 事業名	輝く女性世界発信事業	

総合戦略 体系	142	魅力ある雇用の創出	女性が輝くまちの創造	女性の活躍支援
------------	-----	-----------	------------	---------

PLAN (計画)	部署名	めがねのまちさばえ戦略課	開始年度	2017	終了年度	2022
	目的	第2期総合戦略に掲げる「世界のめがねの聖地SABAEの確立」に向け、本市の魅力の一つである女性の活躍を紹介する映像番組を制作し、国内外に発信する。				
	概要	眼鏡をはじめとする地場産業やまちづくり等の分野で輝く本市の女性を紹介する映像番組を制作し、国内や国連NY本部等で紹介する。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
法令 根拠		実施 形態	現在	民間等委託(全部)		
			内	国連の友APと連携している丹南ケーブルテレビにさばえの輝く女性の番組制作、放映を委託する。また、国連の友APを通じて国連等においてダイジェスト版を放映する。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標
 コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
女性活躍に関する番組制作		目標値					
		実績値					
計算 根拠		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標							
活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
女性活躍に関する番組制作		目標値	5	2	1	1	1
		実績値	5	2	2		
計算 根拠		達成率	100	100	200		
		実数値					
		ランク	A	A	A		

事業 要員	正規職員	0.1	ランク B、Cの 理由
	臨時・嘱託		
	※所要時間	0	

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	5,039	4,300	3,000	2,860
決算額	2,997	4,227	2,409	

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	補助(国)事業
	経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	13	207	持続可能な地域推進事業費	55,263	2,860	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	2,860

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 13 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 効率性	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担などを 確保する余地はないか。 有効性	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 16 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	SDGs未来都市の選定を受け、丹南CATV、国連の友AP、福井県眼鏡協会などの協力を得ながら、SDGs目標5の「ジェンダー平等の実現」にフォーカスした、本市のSDGs推進に向けた取組みについて「見える化」し、国連会議等を通して広く世界に発信する。
前年度の実績	本市の女性活躍を中心としたSDGs推進の取組みを紹介した映像番組を作成し、国連NY本部で開催されたSDGs推進会議にて報告するとともに、CATVやインターネットを活用して、国内外へ発信した。
前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題	R2年度も本市の女性活躍を中心としたSDGs推進の取組みを紹介した映像番組を作成予定であり、作成した映像番組は、SDGs推進センターや夢みらい館・さばえで放映するほか、できるだけ多くの方に見てもらえるよう、内容等も含め、国連の友アジアパシフィックや団体と協議していく。
実績と課題を踏まえた来年度の変更点	女性活躍推進の取組の変化が見えるよう、推進センターや夢みらい館・さばえを中心に、ステークホルダーとの連携事業やセミナーなどの内容充実を図り、発信を実施していく。
方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	<input type="text"/>
市民役事業にかかる額(単位千円):	<input type="text"/>
来年度 事業名	<input type="text"/>
市民役事業にかかる額(単位千円):	<input type="text"/>

今年度事業名	選べるワークスタイル推進事業	事業コード 3495
来年度事業名	選べるワークスタイル推進事業	

総合戦略体系	142	魅力ある雇用の創出	女性が輝くまちの創造	女性の活躍支援
--------	-----	-----------	------------	---------

PLAN(計画)	部署名	めがねのまちさばえ戦略課	開始年度	2018	終了年度	2020
	目的	あらゆる人々が自分の能力が発揮できる、また自分の希望に合った働き方を選択することが出来る機会を増やし、埋もれている人材を発掘するとともに出産等による離職の軽減を図る。				
	概要	結婚や出産と同時に離職する女性に対し、テレワーク(在宅勤務、サテライトオフィス)子連れ勤務、フレックスタイム制など新しい働き方を実践している企業の取り組みを紹介し、ライフスタイルに合わせた働き方を提案する。				
	コロナ対応の取組	(今年度)無観客で開催し、ユーチューブによるオンライン配信を行った。				
法令根拠		実施形態	現在	民間等委託(全部)		
			内容	新しい働き方を実践している企業を紹介する企業等と協力して講習会等を実施		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
講座(イベント、相談会等)の開催数		目標値				1	1
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
講座(イベント、相談会等)の受講者数		目標値				90	90
		実績値					
計算根拠		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
講座(イベント、相談会等)の開催数		目標値		3	3		
		実績値		3	1		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
講座(イベント、相談会等)の受講者数		目標値		90	90		
		実績値		72	102		
計算根拠		達成率		80	113		
		実数値					

ランク B A

事業要員	正規職員	0.1
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの理由	
------------	--

DO(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額		540	540	540
決算額		540	540	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	17	201	男女共同参画事業費	9,836	540	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	540

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 14 /16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 ○ ある <input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 ○ ある <input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 ○ ある <input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。 ○ ある <input checked="" type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 16 /20

ACTION

今年度 方向性⇒

取組内容
新しい働き方を実践している企業・個人を紹介し、企業の働き方改革のきっかけづくりや出産等による離職の軽減を図る。
R2年度は3年目となるため、対象者を高校生まで広げ、若年層をターゲットとした講座・相談会等のPRを行う。

前年度の実績
各々の個性や能力を發揮しながら、多様なワークスタイルを実践している方々のプレゼンテーションやトークセッションを開催。そのあと、登壇者との交流会もあわせて実施し、新しい働き方への理解を深めた。

前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題
R2年度も例年通り1月頃開催予定であり、新型コロナウイルス感染拡大防止対策が必要な場合はリモートを活用して実施する予定である。以前は少人数でのグループワーク形式で行っていたが、イベント形式に変更したことにより参加人数の拡大が見られた。

実績と課題を踏まえた来年度の変更点
1010「ワーク・ライフ・バランス推進事業」に統合する。

方向性⇒

【提案型市民役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	未実施	実施	実施	実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	選べるワークスタイル推進事業
市民役事業にかかる額(単位千円):	540
来年 事業名	選べるワークスタイル推進事業
市民役事業にかかる額(単位千円):	

今年度事業名	持続可能な地域推進事業 (SDGsパートナーシップ事業)	事業コード 3507
来年度事業名	持続可能な地域推進事業 (SDGsパートナーシップ事業)	

総合戦略体系	142	魅力ある雇用の創出	女性が輝くまちの創造	女性の活躍支援
--------	-----	-----------	------------	---------

PLAN (計画)	部署名	めがねのまちさばえ戦略課	開始年度	2018	終了年度	9999
	目的	持続可能な開発目標SDGsの目標達成に向け、市民、市民団体、企業、大学など多くの関係者による協調的かつ包括的な取組が必要であるため、SDGsについて認知度を高め、鯖江市全体で一丸となって取り組む機運を高めることを目的とする。SDGsとは何かを広く市民に知っていただくために、集客の見込めるイベント等で発信し、企業、団体、個人の取組みを推進していく。				
	概要	SDGsとは何かを広く市民に知っていただくために、集客の見込めるイベント等で発信し、企業、団体、個人の取組みを推進していく。SDGs推進の啓発のためのSDGsカフェやSDGsデーの開催、国際女性デーに合わせたオレンジキャンペーンの実施、市民団体を対象にしたSDGs事業補助を行う。				
	コロナ対応の取組	(今年度)SDGs推進センターのオープンにあわせてセレモニーを開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大規模なセレモニーは中止し、内容を縮小してイベントを実施する。 (来年度)新型コロナウイルスの感染拡大防止対策が必要な場合は、対策を実施しながら事業を実施していく。				
法令根拠		実施形態	現在	民間等委託(一部)		
			内	リーフレット・パネル・ピンバッジ制作、オレンジキャンペーンイベント、女性活躍推進支援業務は委託。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標
 コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
SDGs推進のための研修会の開催		目標値				20	20
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
SDGsの活動事業団体数		目標値				40	40
		実績値					
計算根拠	R2～(仮称)さばえSDGsクラブに加入団体数 R1までは、市内でSDGs推進活動を行っている企業、団体数		達成率				
		実数値					

■ 通常期の指標							
活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
SDGs推進のための研修会の開催		目標値		5	20		
		実績値		12	27		

成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
SDGsの活動事業団体数		目標値		4	5		
		実績値		4	25		
計算根拠	R2～(仮称)さばえSDGsクラブに加入団体数 R1までは、市内でSDGs推進活動を行っている企業、団体数		達成率	100	500		
		実数値					

事業要員	正規職員	0.7	ランク B、Cの 理由
	臨時・嘱託		
	※所要時間	0	
	ランク		A

DO (実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額		1,658	23,701	4,794
決算額		1,120	22,798	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	13	207	持続可能な地域推進事業費	55,263	4,794	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	4,794

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1	地方創生推進交付金	1,050
2		
3		
4		
5以降		
		合計 1,050

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 15 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 ○ ある <input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 ○ ある <input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 13 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ 内容拡大
取組内容	SDGsの認知度向上を図り、目標達成に向けて自分事として行動を起こせるよう、促進を図る。 経済、社会、環境の3側面からまち全体で機運を高めるための醸成を図る。 また、市民や経済界への啓発や研修を実施するための場として、(仮)SDGs推進プラットフォームの設置に向けた取組みを行う。
前年度の実績	SDGs推進・普及啓発を目的にインポスター症候群や女性活躍に関する研修やSDGs推進シンポジウムを開催した。また、3月8日の国際女性デーと連動したオンラインがねキャンペーンを展開し、全国の眼鏡小売店で「SDGs推進」と「国際女性デー」の周知啓発を図った。
来年度へ向けて	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 今年度、整備を行っていたSDGs推進センターが9月にオープンし、相談や問い合わせ、提案なども多いことから、セミナーの開催や団体や学校、企業との連携事業を積極的に実施する。その中で、セミナー等の参加費の導入や新たな連携事業などの検討を図る。
	実績と課題を踏まえた来年度の変更点 SDGs推進センターの設備を活用し、オンラインでの情報発信や研修会の開催、産学官民連携での事業の実施、地域活動拠点である「夢みらい館・さばえ」との連携をすることで、活動事業団体の増加を図る。
	方向性⇒ 維持

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年度 事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
来年度 事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	

今年度 事業名	移住就職支援事業	事業コード 3574
来年度 事業名	移住就職支援事業	

総合戦略 体系	214	若者が住みたいなるまちの創造	若者の夢を応援するまち ~よそ者に寛大 で多様性があるまち~	UIターン者定住促進
------------	-----	----------------	-----------------------------------	------------

PLAN (計画)	部署名	めがねのまちさばえ戦略課	開始年度	2019	終了年度	2024
	目的	東京圏への過度な一極集中の是正および地域の中小企業等における人手不足の解消を目的として、移住者に対し支援金を支給することにより、移住に係る初期費用の支援を行い移住者の経済負担を軽減することで、鯖江市への移住を促進する。				
	概要	東京23区の在住・在勤者で、県就職マッチングサイトに掲載された県内中小企業の求人に応募・就業し、鯖江市に移住してきた者に対して、次の額を支給する。 ・単身で移住した場合には60万円 ・世帯で移住した場合には100万円				
	コロナ対応 の取組	特になし				
法令 根拠		実施 形態	現在	補助金等交付		
			内容	市が交付申請者に対して移住支援金を交付する。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
補助件数	件	目標値					
		実績値					
計算 根拠		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
補助件数	件	目標値			2	2	2
		実績値			1	1	
計算 根拠		達成率			50	50	
		実数値					

ランク B

事業要員	正規職員	
	臨時・嘱託	
	※所要時間	8

ランク B、Cの理由 東京一極集中の是正と地方の担い手不足対策のため、国・県・市が一体となって移住者を支援する制度であるが、制度利用者が全国的にも少ない現状にある(去年は県内1件)。当該制度の支援対象要件が厳しいことが一因と考えられ、その結果として、当市においても制度利用者が少なかったことと思われる。

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額			5,000	3,200
決算額			600	1,000

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	補助(県)事業
	経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	2	1	13	207	持続可能な地域推進事業費	55,263	3,200
2							
3							
4							
5以降							
合計							3,200

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1	移住就職支援事業費補助金	2,400
2		
3		
4		
5以降		
合計		2,400

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 13 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 効率性	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担などを 確保する余地はないか。 有効性	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 16 / 20

ACTION

今年度 方向性⇒ 0

取組内容 東京23区の在住・在勤者で、県就職マッチングサイトに掲載された県内中小企業の求人に応募・就業し、鯖江市に移住してきた者に対して、次の額を支給する。
・単身で移住した場合には60万円
・世帯で移住した場合には100万円
また、登録企業数を向上させるため、人手不足である福祉施設への情報提供や中小企業向けメールマガジンへの掲載を行う。

前年度の実績 令和元年度の交付申請者は1名であり、その申請者が県内で唯一の制度利用者であった。

前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 国の制度が令和元年12月から改正され、支援対象要件が緩和されたが、令和2年度の交付申請者は1名(7.30現在)であり、昨年度に引き続き、今年度も交付申請者が少ない可能性がある。緩和された支援対象要件の厳しさが第一義的な原因であると思われるが、転入者に対する制度の認知度が低いことも一因と考えられる。

実績と課題を踏まえた来年度の変更点 ホームページや移住フェアなどにおいて、制度に関するPRを強化し、制度の認知度を高め、鯖江市への移住につなげたい。

方向性⇒ 事務改善

【提案型市民役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	
来年度 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	

今年度事業名	シェアリングシティさばえ推進事業	事業コード 3577
来年度事業名	シェアリングシティさばえ推進事業	

総合戦略体系	421	安心して快適に暮らせるまちの創造	幹線交通網の変化を見据えた二次交通網の整備	幹線交通網と二次交通網のネットワークによる地域公共交通網の形成
--------	-----	------------------	-----------------------	---------------------------------

PLAN(計画)	部署名	めがねのまちさばえ戦略課		開始年度	2019	終了年度	9999
	目的	平成30年度に総務省から「シェアリングエコノミー活用推進事業」を受託し実施した結果、サービス提供側・利用側それぞれに様々な課題が見つかった。また、セミナーの効果もあり、少しずつ市民のサービス提供登録が増えてきているが、まだまだ活用できるスキルや 遊休資産が眠っている。そこで、域外からの来訪者に対するサービス提供の充実、また域内のサービス提供・利用促進により持続可能なまちづくりを図る。					
	概要	本市の実情にあったプラットフォームを講師に招き、広く市民向けのシェアエコセミナーを開催し、サービス登録支援や利用促進を図る。また、ものづくり産地における平時の工房見学やWSのサービス提供支援を行う。					
	コロナ対応の取組	(今年度)セミナー等の県外集客による感染症拡大を懸念して事業中止。 (来年度)全国的にコロナ禍が収束するまでセミナー開催は休止とする。					
法令根拠		実施形態	現在	民間等委託(一部)			
			内容	シェアエコセミナー、シェアエコ開拓支援を委託する。			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
セミナー開催件数		回	目標値				-	-
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
サービス登録件数		件	目標値				-	-
			実績値					
計算根拠			達成率					
			実数値					

■ 通常期の指標

活動指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
セミナー開催件数		回	目標値			2		
			実績値			2		
成果指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
サービス登録件数		件	目標値			5		
			実績値			7		
計算根拠			達成率					
			実数値					

ランク A

事業要員	正規職員	0.03
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの理由	
------------	--

DO(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額			963	864
決算額			904	0

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	13	207	持続可能な地域推進事業費	55,263	864	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	864

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1	福井県集落活性化支援事業補助金(1/2)	432
2		
3		
4		
5以降		
		合計 432

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input checked="" type="radio"/> 2
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input checked="" type="radio"/> 2
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 **8 / 16**

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20**

ACTION

今年度 方向性⇒

取組内容
本市の実情にあったプラットフォームを講師に招き、広く市民向けのシェアエコセミナーを開催し、サービス登録支援や利用促進を図る。また、ものづくり産地における平時の工房見学やWSのサービス提供支援を行う。

前年度の実績
セミナーを2回開催した。
・令和元年8月31日(土) 「シェアで稼げる」クルマ・駐車場シェア入門セミナー
・令和元年9月27日(金) 商品やサービスは誰に売る? 「知って、買って」貰うコツ。Facebook, Instagram活用セミナー

前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題
「ウィズコロナ」・「ポストコロナ」に対応して実施する必要性あり。
より、サービス登録件数を伸ばすためには、引き続き、信用の高い行政が関わりつつPRに注力するとともに、需要に沿ったサービスへの登録を促す必要あり。

実績と課題を踏まえた来年度の変更点
全国的にコロナ禍が収束するまでセミナー開催は休止とするが、シェアリングエコノミー協会の開催する事業者とのマッチングイベントへ参加して新たなサービスの発掘と需要に沿ったサービスへの登録を促す。

方向性⇒

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	可能	可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	シェアリングシティさばえ推進事業
度	市民主役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
来年度 事業名	シェアリングシティさばえ推進事業
度	市民主役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>